



今回も竹原市民の多くが待望している『活力ある元気なまち』をテーマに政策実現に向けた質問をさせていただきます。それこそが「住みよさ実感」に繋がると考えるからです。

今回も「住みよさ実感」に繋がる質問を展開していきます。

1 人口対策

人口減対策として有効なのは、何と言っても企業誘致です。

① 竹原市は企業誘致に対して、どのような戦略を考えているのか、進捗状況は。

② 市役所を活用して、Uターン人材を呼び込む策を講じる必要性について

2 交流人口

交流人口を増加させるためには、町並保存地区や大久野島の観光振興に磨きをかける必要があります。

① 大久野島をどの様に活用していくのか。

② 大久野島の訪問税について、環境省が難色を示していることに対する分析は。

3 賑わいの創出

、まちの賑わいを取り戻すためには、商店街のイベントや社協の盆踊り大会など、各種団体への応援が必要です。

① 活動に対して、活性化に向けた応援をどのように考えているのか。

② 応援補助金の活用について。

4 市民の協力強化

竹原市の事業を進めるためには、多くの市民の協力が必要不可欠です。

① 気軽な相談拠点としての地域交流センターに再任用職員を置くことについて。

② 「協働のまちづくり協議会」を地域交流センターに置き、稼ぐ力を育むことについて。

③ 共働き世帯への保育所応援について。

5 人材育成

職員の人材育成には、先ずはやる気溢れる新人の採用が必要です。

- ① 市役所職員の採用試験のあり方について。
- ② 市長は採用試験にどのように関わっていくのか。

以上5項目の第2弾人口減対策やまちづくりに対して、平井市長はどのように考えておられるのか伺います。